

コンピュータ利用教育学会CIEC第117回研究会

新しい図書館のありかた
～ラーニングコモンズとコンソーシアムを中心として～

早稲田大学
図書館長
基幹理工学部 情報理工学科 教授

深澤 良彰

2019年1月5日

コンピュータ利用教育学会CIEC第117回研究会

新しい図書館のありかた
～ラーニングコモンズとコンソーシアムを中心として～

教育方法の変革

能動的学修（アクティブ・ラーニング）、プロジェクト型学習、反転学習などというキーワードによって代表される新しい教育／学習方法

- 能動的学修：「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。」

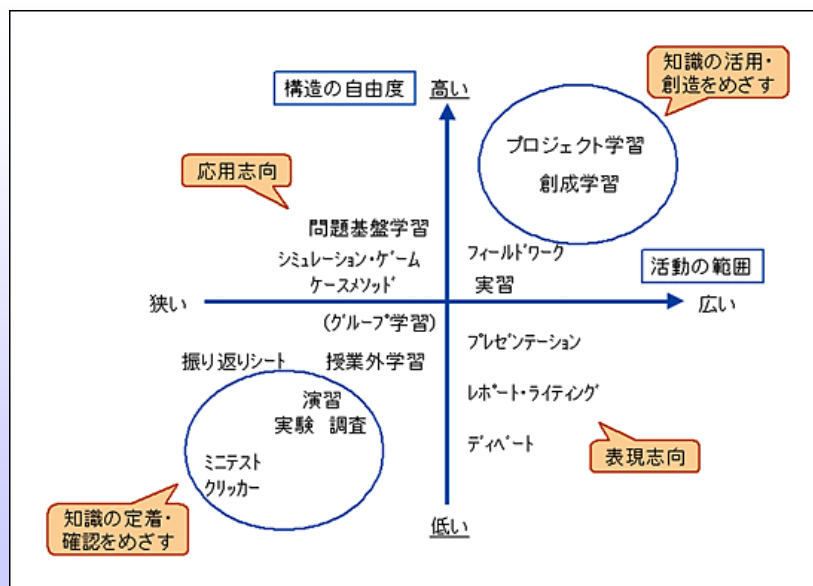
中央教育審議会。新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

3

能動的学修概観



山地 弘起。アクティブ・ラーニングとはなにか。大学教育と情報、私立大学情報教育協会、2014年度、No.1 4

研究方法の変革

- プロジェクト型の研究：
 - 文部科学省を中心とする省庁の大規模な研究費の配分方式の変化
 - 自然科学系だけでなく、社会科学系、人文科学系でも、プロジェクトを作り、多くの教員が参加する形式を要求
- プロジェクト型の研究では、その研究に携わっている研究者が、
 - 自らの研究成果を持ち寄り
 - 他の研究者と議論をしながら
 - 更なる研究成果を創出
 - 必要に応じてさまざまな学術資料を参考に
 - 総合的な成果をまとめていくことが要求される

図書館は、
このすべての
過程を支援

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

5

図書館の変革

- 教育方法の変革が起き
&
• 研究方法の変革が起き
- 
- 図書館の変革をしないで済むわけがない
- 
- その一環として
- 図書館におけるラーニング・コモンズの整備
 - 必ずしも図書館員の積極的協力が得られるわけではない
 - 同志社大学の例

さまざまな形態での
ラーニング・コモンズの実装
(新築、教室・PC室等の改修…)

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

6



同志社大学 良心館

国内最大級
2F・3F合わせ
て、約2550㎡

- クリエイティブコモンズ（2F）
 - － インフォメーションカウンター：受付
 - － プレゼンテーションコート：柔軟なイベント開催場所
 - － インフォダイナー：プロジェクターとホワイトボード
 - － グループワークエリア：台形、四角、勾玉型の机
 - － グローバルビレッジ：多文化交流
- リサーチコモンズ（3F）
 - － アカデミックサポートエリア：個人・グループ対象
 - － グループスタディールーム：電子黒板、ホワイトボード、可動式机・椅子
 - － ワークショップルーム：クローズド／オープンタイプ
 - － マルチメディアラウンジ：映像の編集・加工スタジオ
 - － プリントステーション：印刷物全般の作成

7



同志社大学 良心館のスタッフ

- アカデミック・インストラクター（専属教員3名）
 - － 社会学・教育社会学、図書館情報学、日本語学
- 情報探索アシスタント（図書館員）
 - － 専門データベース等により学習に必要な情報の探し方を支援
- ラーニング・アシスタント（さまざまな分野の院生）
 - － 勤務シフト表の公表
- 学習支援コーディネーター
 - － 設置されている先進的ICT機器の活用法のアドバイス
- 留学コーディネーター/留学アシスタント
- 学生スタッフ
- ICTサポートスタッフ
 - － 基礎的な操作、動画編集やフォトレタッチなどのアドバイス
- プリントステーションスタッフ
 - － デザインや著作権に関する相談も
- 受付オペレータ（各ブースの予約や機械の貸出・返却等）

8

Waseda Vision 150

『Waseda Vision150 (将来像)』

Missionを継続して果たすための創立150周年(2032年)に向けた将来像

- 世界に貢献する高い志を持った学生(Vision1)
- 世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究(Vision2)
- グローバルリーダーとして社会を支える卒業生(Vision3)
- アジアの大学のモデルとなる進化する大学(Vision4)

『早稲田の13の核心戦略』

Waseda Vision150を実現するための大学全体の具体的な戦略

《Vision1関連》

- 入試制度の抜本的改革(1)
- グローバルリーダー育成のための教育体系の再構築(2)
- 教育と学修内容の公開(3)
- 対話型・問題発見・解決型教育への移行(4)
- 大学の教育・研究への積極的な学生参画の推進(5)
- 早稲田らしさと誇りの醸成を目指して(6)
- 世界のWASEDAとしての国際展開(8)

《Vision2関連》

- 独創的研究の推進と国際発信力の強化(7)
- 世界のWASEDAとしての国際展開(8)
- 新たな教育・研究分野への挑戦(9)

《Vision3関連》

- グローバルリーダー育成のための教育体系の再構築(2)
- 教育と学修内容の公開(3)
- 早稲田らしさと誇りの醸成を目指して(6)
- 世界のWASEDAとしての国際展開(8)
- 早稲田を核とする新たなコミュニティの形成(13)

《Vision4関連》

- 教職員の役割と評価の明確化(10)
- 財務体質の強化(11)
- 進化する大学の仕組みの創設(12)

Vision150における位置付け

● 核心戦略 4

『対話型・問題発見・解決型教育への移行』

● 各種教育支援システム整備

- モバイル対応新ポータル MyWasedaの提供
- Webクリッカー機能提供による対話型授業の支援

● 各種教室設備・インフラ整備

- レイアウト変更可能な什器やICTツールを活用したアクティブラーニング教室の拡充
- 学生の事前事後学習を促進するグループ学習室の拡充
- あらゆる場所で無線LANを利用できるオンライン環境の実現

● 対話型・問題発見解決型授業への移行

- 講義動画の事前学習により教室授業をグループワークやディスカッション中心への転換
- 反転授業を含むブレンド型授業の推進によりクォーター化を促進

10

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

本学のラーニングコモンズのあるべき姿

- ラーニングコモンズは、
 - 学内に分散して設置すべきである
 - 学部・大学院など学生のレベルであるべき姿が異なるべきである
 - 社会科学系・人文科学系・自然科学系など大まかな専門分野で異なるべきである
 - 多分野にまたがる学生の共同学習を推進すべきである
 - さまざまな機能をラーニングコモンズに展開すべきである

学内にさまざまなラーニングコモンズを実現

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

11

学内のさまざまなラーニングコモンズ （「もどき」を含む）

- W Space (3号館2階)
- CTLT Classroom 1/2/3 (3号館2階)
- ライティング・センター (3号館2階)
- Math and Stat Center (3号館2階)

- Waseda Global Gate (22号館1階)
- Waseda International Learning Lounge (WILL、22号1階)



- 7号館W Space
- 所沢ラーニング・コモンズ
- 中央図書館ラーニング・コモンズ
- 早稲田アリーナ・ラーニング・コモンズ
- 理工ラーニング・コモンズ（予算申請中）

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

12

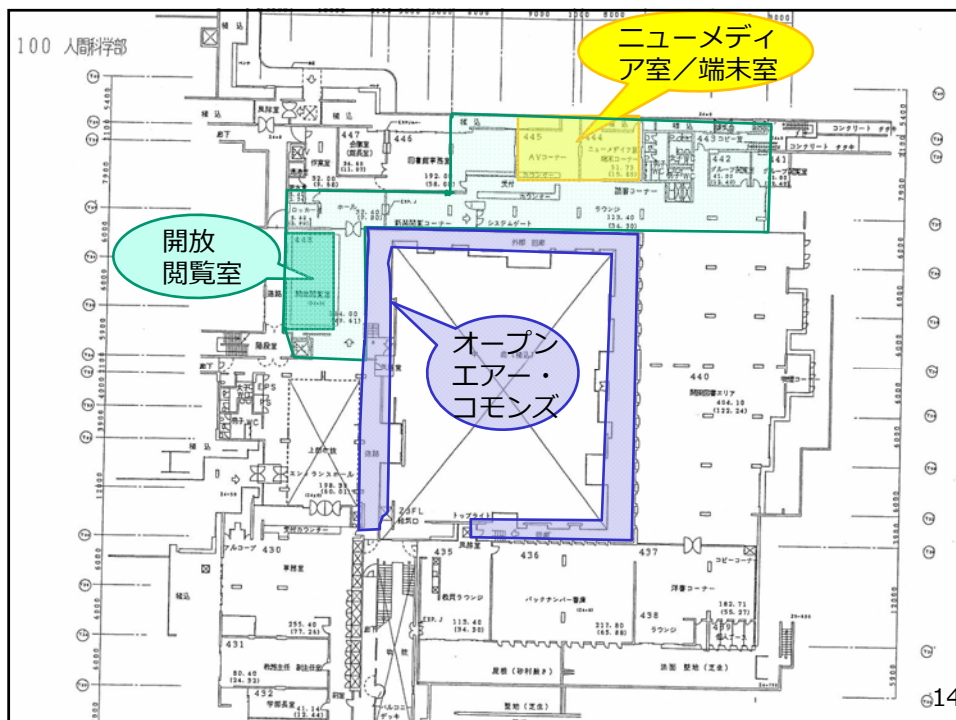
所沢ラーニング・コモンズ (2017.4開設)

- 開放閲覧室をラーニング・コモンズ風にご利用
– 机8個だけ
- ラーニングコモンズエリアの拡大
- 「ニューメディア室／端末室」の機器・メディアの老朽化
- マルチメディア機器へのアクセスを可能にしたラーニングコモンズ化
- 閲覧エリアの狭隘化
- 屋外の有効利用・オープンエアー・コモンズ

所沢キャンパス：
1987年4月開設

13

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.



14

中央図書館ラーニング・コモンズの コンセプト (1/2)

「図書館ならではの」のラーニング・コモンズ

- 身近にある図書館資料や、学生の主体的な学びを支援するサービスを活用しながら、グループによる学習や、静かに集中した個人学習など、多様な学習スタイルの共存が可能な学習空間
 - ラーニング・コモンズとしての機能を拡充しつつも、静謐なゾーンや旧来の伝統的な図書館の要素や環境は維持して従来からの利用者の期待にも応え、双方の機能を共存
 - グループ利用率や発話率が高い賑やかな空間とはせず、図書館の持つ荘厳でアカデミックな雰囲気のもと、調査・研究課題に対するグループによる熟議が行われる空間に

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

15

中央図書館ラーニング・コモンズの コンセプト (2/2)

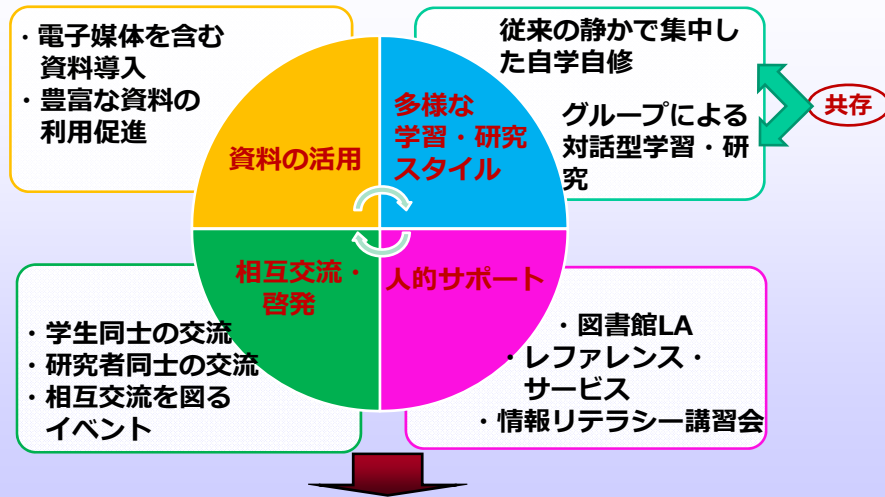
「図書館ならではの」のラーニング・コモンズ

- 図書館資源やサービスの最大限の活用を通して、教育・学習・研究に関わる多様な知的活動を支援する、学生同士ならびに学生と教職員の相互交流の場
 - 人的交流や情報収集、知識獲得が積極的に図られる場に
 - ラーニング・コモンズに集う人同士
 - サービスを提供する図書館職員やLA
 - 図書館が実施するイベントに集まる人たち

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

16

中央図書館ラーニング・コモنزの コンセプト（まとめ）



- ・中央図書館の豊富な資料やサポートを活かした自学自修・研究活動の促進
- ・「対話型、問題発見・解決型授業への移行」「独創的研究の推進と国際発信力の強化」への貢献

Copyright © Waseda University 2019. All rights reserved.

17

館内ゾーニングの整備

利用者のニーズが多様化していることを受け、目的別にゾーニングし、従来の想定になかった図書館内利用を可能に

エリア/Areas	ルール/Rules
Active Area	ラーニング・コモنزとして発話可能なエリア。プロジェクタやホワイトボードも利用可能 発話 (Talking) PC (PC) 電子機器の使用 (Use of electronic devices) 飲み物 (Drinking)
Quiet Area	発話を禁止し、静謐な学習・研究環境を保つエリア。PCや電卓の使用しての作業を行うことが可能 発話禁止 (No talking) PC (PC) 電子機器の使用 (Use of electronic devices) 飲み物 (Drinking)
Silent Area	特に静謐な学習・研究環境を維持するエリア。発話は勿論のこと、電卓やPCなど音の出る機器の使用も禁止 発話禁止 (No talking) PC禁止 (No PC) 電子機器の使用禁止 (No electronic devices) 飲み物禁止 (No drinking)
Super Silent Area	館内で最も静謐な学習・研究環境を維持するエリア。水分補給等も含め、極力物音も立てないよう静寂を維持 発話禁止 (No talking) PC禁止 (No PC) 電子機器の使用禁止 (No electronic devices) 飲み物禁止 (No drinking)

全エリア共通 Common rules
食べ物 Eating
通話禁止 Talking
写真・動画撮影禁止 Photos / Videos

Copyright © Waseda University 2019. All rights reserved.

18

[illegible]

- 20

コモンズ2 (ディスカッション)

図書館資料を用いた熟議を行い、
様々な知恵や刺激を交換するた
めのエリア



- ✓ グループでディスカッションや意見交換を行うために適した什器を数多く設置し、様々な知恵や刺激の交換を促すエリア
- ✓ グループ利用だけでなく、個人利用が可能な座席やソファ、PCワークスペースを併設。1人でも利用可能な、長時間快適に座ることができるソファ席を設置
- ✓ 新着図書コーナー、ミニ展示コーナーを併設、気になった本を手にとって閲覧可能
- ✓ 個人利用が可能な常設PCを15台設置したPCワークスペースを併設

21

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

グループ学習室1・2

図書館による、情報収集や
知識獲得、人的交流を促す
イベントを実施するエリア



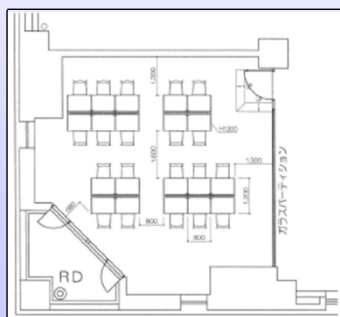
- 様々な学びや気づきを提供する、図書館によるワークショップ（図書館情報検索ワークショップなど）を開催するためのスペース
- 通常時は、グループワークのための学習室として開放し、壁面ホワイトボードを利用したディスカッション、常設の天吊プロジェクタを用いたプレゼンテーションの練習などにも利用可能
- 全席が可動式で、イベントや議論を行う形態に自由に組み替え可能

22

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

サイレント・リーディング ・ルーム1

図書館の中で最も「静寂」で、
自身の学びに没頭できるエリア



- 旧来の「グループ学習室B」を改修
- 機器を一切用いず、さらに静かで落ち着いた環境で資料の閲覧や学習に取り組みたい利用者への要望に応えるための学習室
- すべての機器利用を禁止し、飲み物の摂取も控え、最低限の物音しか立ててはいけない、静寂を保った学習室
- OAフロアとなっているものの、電源は照明のためにのみに利用し、機器の充電等への利用も不可能

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

23

(まだ少しですが) 中央図書館LC改修工事の効果検証 (2018年12月館内利用調査)

2018 年度改修工事前後の、1 日の平均入館者数

	6 月	7 月	10 月	11 月
平均入館者数	2211	2748	2088	2250
前年度同月比	-216	-303	145	79

調査日における滞在時間および閲覧・資料利用量

調査時間帯	延べ滞在時間 (単位: 分)		延べ閲覧量 (単位: 分)		閲覧率		延べ資料利用量 (単位: 分)		資料利用率	
	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018
9:00-12:00	24660	30060	10620	11340	43.1%	37.7%	15480	20700	62.8%	68.9%
12:00-15:00	84420	98280	25200	30420	29.9%	31.0%	41220	63000	48.8%	64.1%
15:00-18:00	96120	102060	45900	28080	47.8%	27.5%	70560	61920	73.4%	60.7%
18:00-22:00	72960	96960	15840	35520	21.7%	36.6%	45600	81120	62.5%	83.7%
全日	278160	327360	97560	105360	35.1%	32.2%	172860	226740	62.1%	69.3%
※入館者1人ごとの滞在時間・利用量	104.9	114.8	36.8	37.0			65.2	79.5		

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

24

(まだ少しですが)
中央図書館LC改修工事の効果検証

		座席数*	利用者数	利用率	エリア 利用率	2017年 同エリア 利用率
2階	2階Silent Area	203	65	32.0%	32.0%	20.2%
	サイレント・リーディング・ルーム	22	3	13.6%		
	2階Quiet Area	242	98	40.5%		
3階	3階Silent Area	229	56	24.5%	30.4%	30.6%
	3階Quiet Area1	167	57	34.1%		
	3階新聞・雑誌コーナー	86	30	34.9%		
	3階Quiet Area2	202	65	32.2%		
Active Area	2階コモンズ1	51	29	56.9%	52.2%	33.6%
	2階コモンズ2	109	47	43.1%		
	2階グループ学習室1・2	66	39	59.1%		
	3階グループ学習室C	25	16	64.0%		
中央図書館2・3階・Active Area計		1402	505		36.0%	29.5%

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

中央図書館3階の改修も予定

(2019年4月オープン予定)



世代別ラーニングコモンズ

- 第1世代：スペースを確保して、そこに什器を整備
 - － 日本の多くのラーニングコモンズはこのレベル
 - 453大学（全778大学の58.2%）で、ラーニング・コモンズ整備・活用※
 - － この5年間で約2.5倍に増加
 - － 特に、国立大学においては、その91.9%で整備終了
- 第2世代：第1世代のラーニング・コモンズにおいて、各種のサービスを展開
 - － 同志社大学 良心館
- 第3世代：第2世代のラーニング・コモンズにおいて、学習支援・研究支援環境を整備

※文部科学省、平成28年度学術情報基盤実態調査－大学における教育研究活動を支える大学図書館及びコンピュータ・ネットワーク環境の現状について－
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383655.htm

Copyright © Waseda University 2019. All rights reserved.

27

今後考えていくべきこと

- ラーニングコモンズにおける学習・研究支援環境の実現
 - － どんな機能・サービスを提供すべきか
 - 飲食、各種相談（ライティングセンター、留学、カウンセリング等）、英語スペース等
 - － 更なる図書館としてのサポート
 - － 各学術院、研究科等との連携、協力体制の構築
 - 助手・助教の活用
 - － 什器、ハードウェアの追求
 - 協同学修を支援するハードウェアのあるべき姿
 - － 支援ソフトウェアの実現・選定
 - － 大学院学生等をどのように利用していくか
 - 非常に質の良いスチューデントジョブ
 - － 学生・教員等への周知

Copyright © Waseda University 2019. All rights reserved.

28

ラーニング・コモنزの視察に行く のなら…

- 欧米を中心とした先進諸国にいても、感動しない（ことが多い）
 - 大学内にさまざまなラーニング・コモنز的機能をもったスペースが整備されている
- （追いつけ、追い越せの）開発途上国のトップ大学において、最も整備が進んでいる
 - オススメ
 - 香港大学
 - シンガポール国立大学

2015 California State Univ. Long Beach
2015 College of San Mateo, California
2016 City College of New York
2016 New York Public Library
2016 New York Univ
2017 San Jose State Univ
2017 UC Berkeley
2017 UC Davis

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

29

香港大学の新しいラーニングコモنز

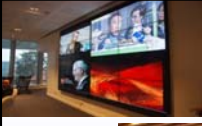
- 100周年記念キャンパスにChi Wah Learning Commonsを新設
- 2階建て6,000平方メートル、全1,500席で個人用、グループワーク用と様々なスペースを完備
- 学生がどこからでも入りやすいよう3つの入口を設置
- 「アトリウム」、「自習エリア」、「ビデオウォール」、「学生相談ゾーン」、「セミナー&エキシビジョンゾーン」等さまざまな工夫



Learning Spaceが大小合わせて193

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

30



Chi Wah Learning Commons





カフェにいるような雰囲気の
グループ学習用スペース



大部分のスペースが
グループ学習用



ほとんどの学生は自身の
PCを持ち込んで利用



学生達もかなりリラックス

31

コンピュータ利用教育学会CIEC第117回研究会

新しい図書館のありかた

～ラーニングコモンズとコンソーシアムを中心として～

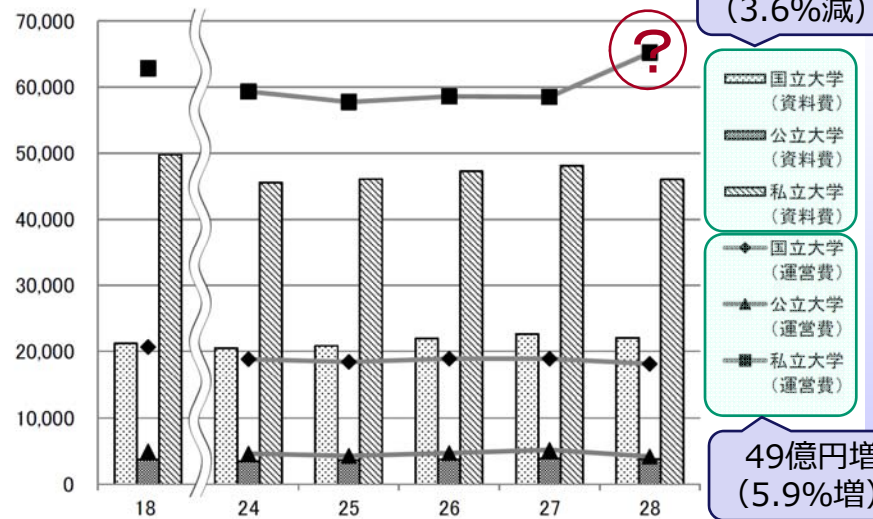
32

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

図書館資料費及び図書館運営費の推移

(人件費等を含む)

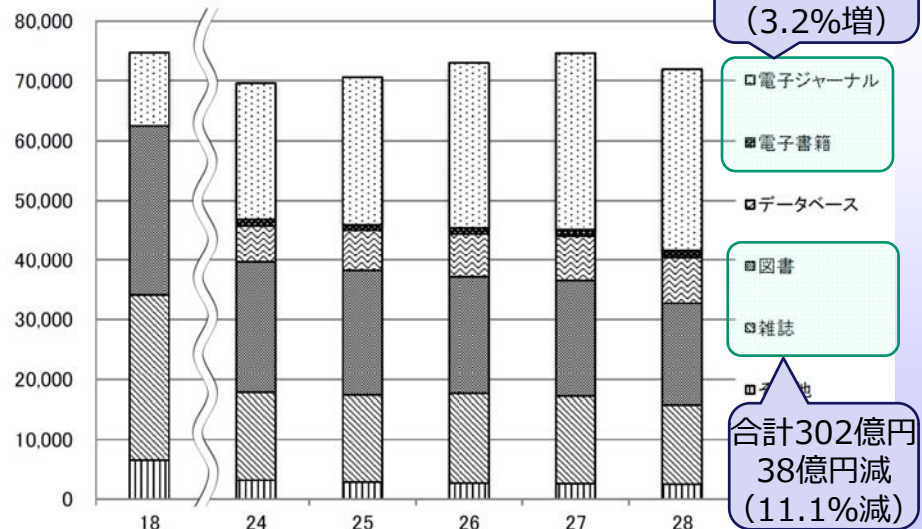
単位: 百万円



参照: 平成29年度 (2017年度) 学術情報基盤実態調査 (2018年3月23日発表) 33

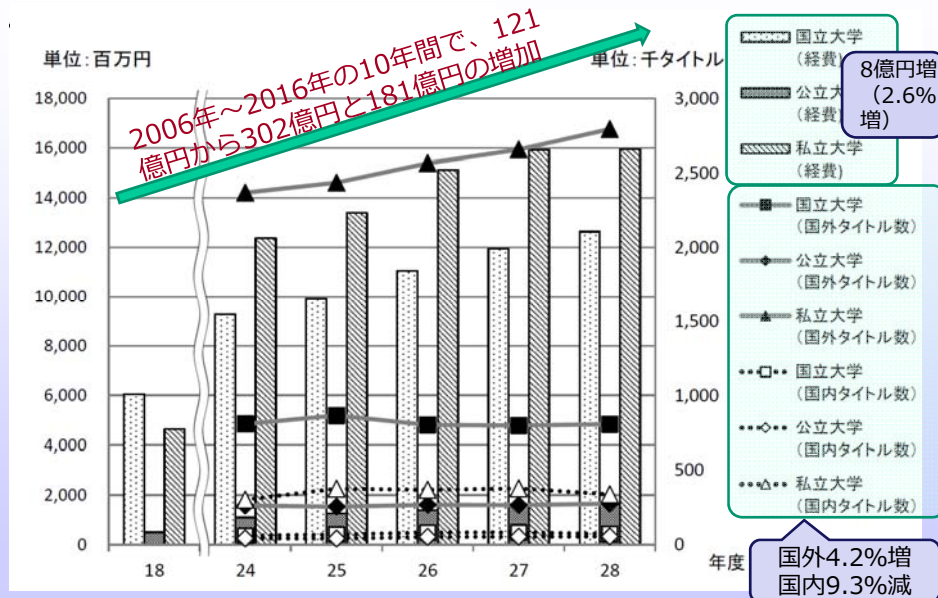
図書館資料費の内訳及び推移

単位: 百万円



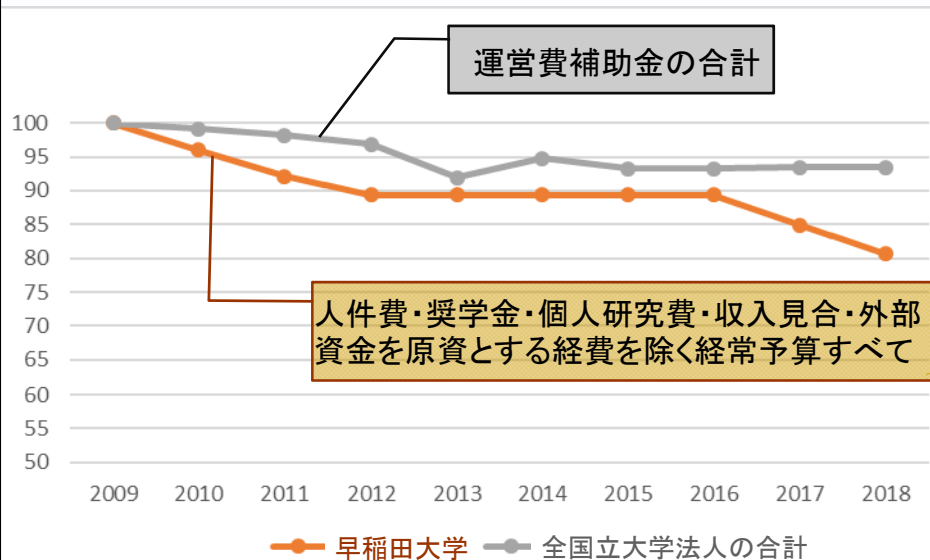
参照: 平成29年度 (2017年度) 学術情報基盤実態調査 (2018年3月23日発表) 34

電子ジャーナル経費と利用可能タイトル数の推移



参照：平成29年度（2017年度）学術情報基盤実態調査（2018年3月23日発表）³⁵

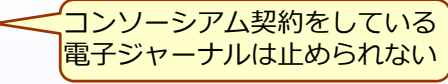
部局予算の減少(早稲田の場合)



Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

36

考え方の道筋

- (実質的な) 予算が減少 
- やりたいこと／やれていたことができなくなる
- 他大学と部分的に組んで、マスメリットを活かせないか

早慶図書館システム共同運用

早稲田大学図書館
利用者：約5万8千人
所蔵冊数：約580万冊



慶應義塾大学メディアセンター
利用者：約3万8千人
所蔵冊数：約490万冊

仮想的な早慶大学図書館
利用者：約9万6千人
所蔵冊数：1000万冊以上

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

37

早稲田大学図書館の課題

1. 現行の図書館システムは、既製（開発ではなく購入）のシステム（米国製）を20年近く使用
 - ◆ 紙媒体資料の処理を前提にしており、現在資料費の6割をも占める電子資料に十分な対応不可能
 - ◆ 国内では唯一のユーザであり、日本語処理の不具合、日本語によるサポートが受けられない等、厳しい状況
 - ◆ 現在のシステムのサポートが2019年9月末で終了となる予定
2. 書誌データ作成（委託：完成品購入）費用は、度重なる予算削減に対応するため、業務を見直しつつ削減してきたが、現在の仕組みではほぼ限界

新しいシステム・抜本的な仕組みの改善が必須

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

38

(偶然なことも含む) 早慶図書館の関係

- 早慶図書館は、1986年より図書館間で相互利用協定を締結
 - 図書の貸し借り (ILL) などで協力
 - 各種業務・サービスの共同化の可能性を継続的に検討
 - 海外における図書館システムの複数館 (コンソーシアム) での共同利用事例の増加も研究 (日本では皆無)
- 新システム導入時期がほぼ一致
- 極めて類似した書誌の保存形式の採用

早慶で図書館業務の共同化ができないか？

「自分の大学で購入した書籍は、自分の大学の教職員・学生だけのものである」という概念を捨てよう！

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

39

早慶共同利用の概要

- ① 紙資源・電子資源を統合管理できる新図書館システムの共同利用
- ② 書誌データの共同調達体制の確立

★ 早稲田大学の中長期計画：Vision150

-- 対応する核心戦略 ★

12. 進化する大学の仕組みの創設

本提案の実現により、他大学と競争するだけでなく、協力できる部分は積極的に手を結び、共同化により双方でコスト削減を達成

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

40

書誌データ共同調達のイメージ

*書誌作成数（2013～15年度の平均）

◆現状

- ・早慶で別々に書誌データを調達（作成）
- ・重複するものが多い（早稲田側の約46%）

早稲田
約36,000書誌/年

慶應
約42,000書誌/年

早慶合計で約78,000件/年

◆共同化達成後

- 早慶で共同調達することにより
- ・重複部分の費用削減（半減）
 - ・スケールメリットによる調達コスト自体の削減が期待

早稲田固有

重複部分
約17,000件

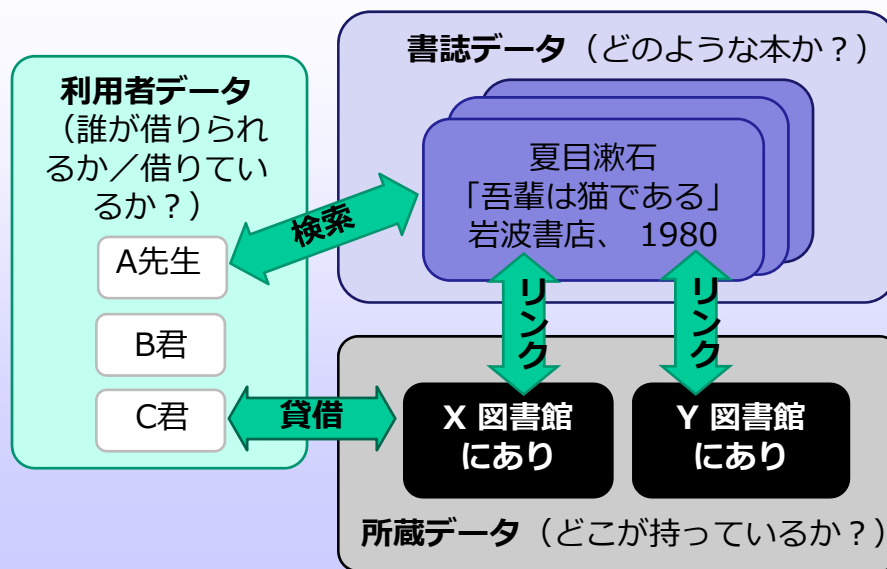
慶應固有

早慶で全体約61,000件/年

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

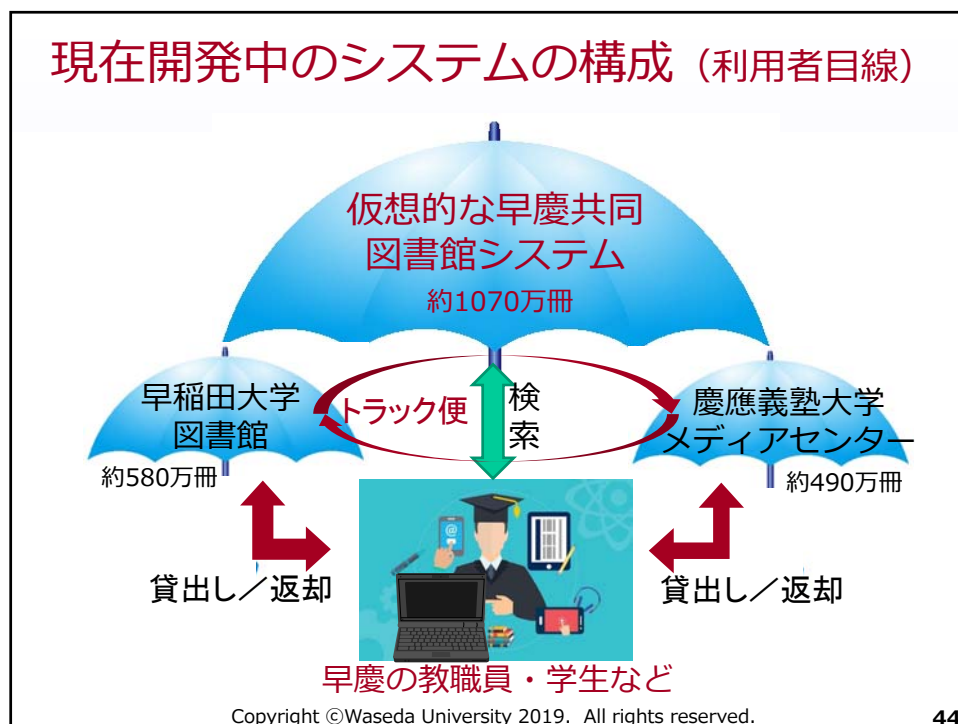
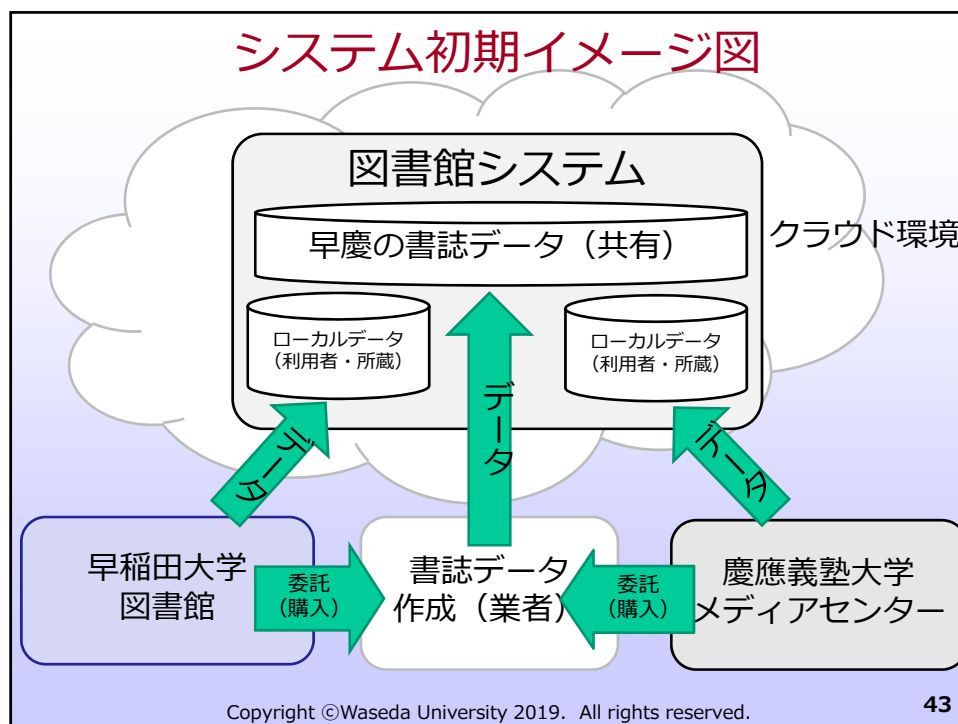
41

図書館システムの構造

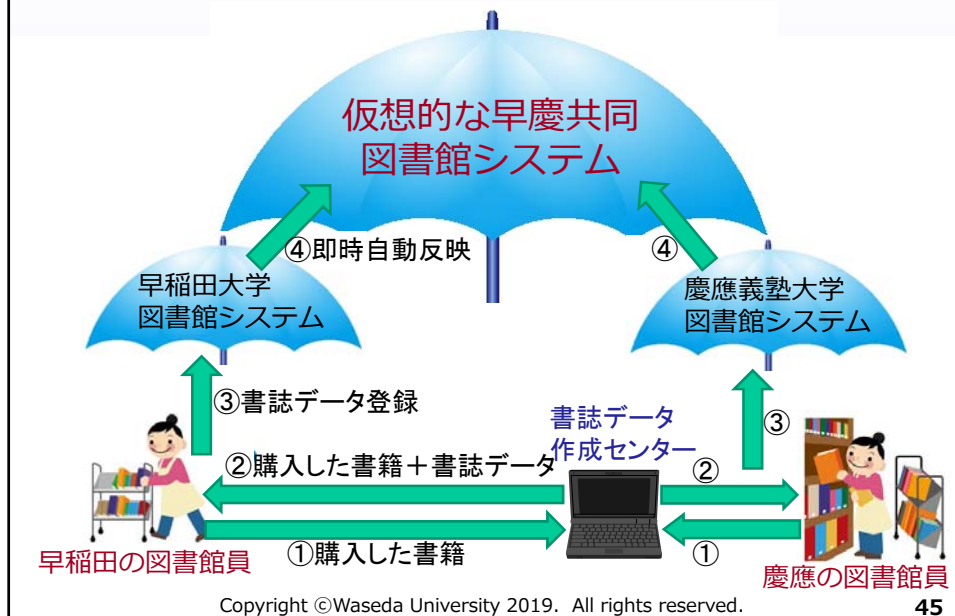


Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

42



現在開発中のシステムの構成（図書館員目線）



45

期待される効果

サービスの向上

- ✓ 書誌データ統合による検索の利便性向上
- ✓ 資料相互利用（ILL）の拡大

書誌データ調達コストの削減

- ✓ 早慶で重複する資料は共同でデータを購入
- ✓ 既存の書誌データ作成環境（場所）の再活用

システム調達・運用コストの削減

- ✓ 早慶での共同選定（調達）によるディスカウント
- ✓ 早慶での共同利用による運用経費の削減

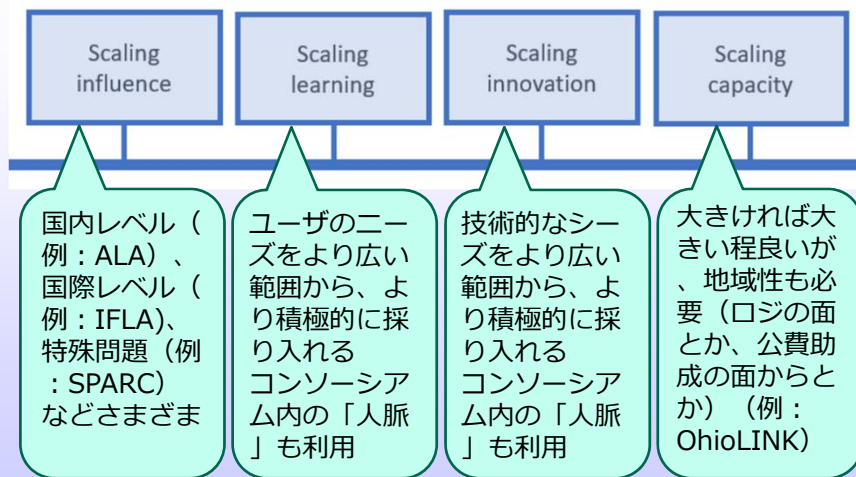
影響力強化

- ✓ 国内での先進事例
- ✓ 他大学への影響（システム共同利用への参加校の増加）

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

46

コンソーシアムに4つの得あり



Lorcan Dempsey (the Chief Strategist and VP, OCLC) 、"The powers of library consortia 1: How consortia scale capacity, learning, innovation and influence" Feb.28, 2018. <http://orweblog.oclc.org/the-powers-of-library-consortia-1-how-consortia-scale-capacity-learning-innovation-and-influence> 他

47

大まかなスケジュール

日程	イベント
2017年5月	早慶プロジェクト設置・覚書締結（プレスリリース）
2017年8月	RFPを国内外図書館システムメーカー8社へ提示
2017年11月	提案を絞り込み、Ex Libris社の製品を選定
2018年2月	早慶双方でEx Libris社と契約締結（翌3月：プレスリリース）
2018年3月	新システム導入に向けた準備作業を本格化
2018年10月～翌7月	利用規定などのルール改定作業
2018年10月	新システム導入に向けたプロジェクトを正式稼働
2019年1月、5月	データ移行テスト実施（2回）
2019年1月～翌7月	本番環境を使った準備作業（システム設定、スタッフ教育等）
2019年8月	本番データの移行
2019年9月（予定）	新システム・目録センターの稼働

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

48

覚書の締結

「早稲田大学・慶應義塾大学 日本初・図書館システムの
大学間共同運用に向けた覚書締結」2017年5月16日

<https://www.waseda.jp/top/news/51024>



Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

49

大まかなスケジュール

日程	イベント
2017年5月	早慶プロジェクト設置・覚書締結（プレスリリース）
2017年8月	RFPを国内外図書館システムメーカー8社へ提示
2017年11月	提案を絞り込み、Ex Libris社の製品を選定
2018年2月	早慶双方でEx Libris社と契約締結（翌3月：プレスリリース）
2018年3月	新システム導入に向けた準備作業を本格化
2018年10月～翌7月	利用規定などのルール改定作業
2018年10月	新システム導入に向けたプロジェクトを正式稼働
2019年1月、5月	データ移行テスト実施（2回）
2019年1月～翌7月	本番環境を使った準備作業（システム設定、スタッフ教育等）
2019年8月	本番データの移行
2019年9月（予定）	新システム・目録センターの稼働

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

50

早慶双方でEx Libris社と契約締結

- 2018年2月：契約
- 2018年3月：プレスリリース

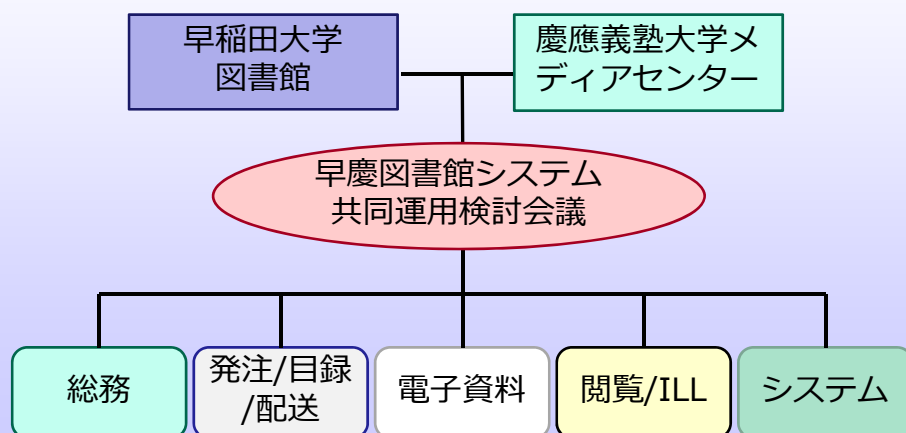


Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

51

プロジェクト体制

- 早慶で合同の会議体を設置
- その下に各役割別のサブグループを設置



Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

52

海外におけるシステム共同化の事例

コンソーシアム名	参加数	地域
Swiss Library Service Platform (SLSP)	130機関 (600館以上)	スイス
BIBSYS	100以上	ノルウェー
Orbis Cascade Alliance	37	ワシントン州 オレゴン
Washington Research Library Consortium (WRLC)	9	ワシントンDC
Special Libraries of Saskatchewan (CASLS)	7以上	カナダ
香港主要8大学 (JULAC)	8	中国 (香港)

1. システムの共同利用を目的としたコンソーシアムが世界的に増えつつある (国内にはまだない)
2. ここに上げた事例はすべて Almaシステムを利用
3. 香港の事例は、漢字圏での大規模な例である。移行前は早稲田と同じIII社システムを採用



早慶での共同化、
そして更なる拡大へ

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

53

まとめ ～現時点までの感想～

- 初めての組織的な早慶協力
 - － いつもは「早慶戦」の『好敵手』
 - スポーツでは、早稲田大学から見て43勝1分13敗 (2017年度)
 - ゴルフから麻雀まで、さまざまなOB会の「早慶戦」
- 相手が慶應だから可能だった
 - － 日頃から、深い協力関係
 - 1986年に協力協定締結
 - 館長同士も、職員同士も、以前からの顔なじみ
 - － 同じ書誌形式
 - － 規模がほぼ同じで、Win-Winの関係に
- これを機に、業務の大きな見直し
 - － ある意味「外圧」

Copyright ©Waseda University 2019. All rights reserved.

54

Thank you...

ご質問・ご意見等は
fukazawa@waseda.jp まで

55

本日使用した資料は、1月7日から本年度末まで、
<http://www.fuka.info.waseda.ac.jp/~fukazawa/material.html>
 にアップしておきます。
 必要な方は、ダウンロード／印刷などしてください。

